

自分のまちが
好きだから、
自分にできる
ことをする。



消防団の団員は
みんな、普通に暮らす
普通の人。

そして、自分のまちが
好きな人。





消防団は地域に

「住む人」

「働く人」

「学ぶ人」

によって構成されています。

団員はそれぞれ

自分の仕事を持ちながら、

「自分たちのまちは、

自分たちで守る」の精神のもと、

住民の安全を守るため、

自分たちにできることを

日々積み重ねています。

CONTENTS

消防団員インタビュー ————— P03-14

消防団の活動について ————— P15-16

待遇・各種制度 ————— P17-18

入団について ————— P19

各市町村問合せ先 ————— P20

知事メッセージ ————— P21-22



SANNOHE
TOWN



さ さ き だ い ち
佐々木大地

三戸町消防団第4分団所属
23歳 / 大学生 / 活動歴1年

消防団で活動した
ある一日



「町を守る」という大事なことを 人まかせには、したくないんです。



大学生でありながらの
消防団入団となりましたが、
そのきっかけは？

佐々木 普段からとてもお世話になっている方から誘われて入団しました。町になにか貢献できたら、という思いもあったし、僕が小さい頃は父も消防団員をやっていたので、素直な気持ちで入団できました。

消防団では、どんな活動をして
いますか？ また、大学生活との
両立は大丈夫ですか？



佐々木 今年度は新型コロナの影響で、ほとんどの訓練や活動が中止になりましたが、消防車に乗って町内を回り火の用心を呼びかける活動はできました。マイクで火の用心のアナウンスをしたりとても緊張しましたが、先輩たちがやさしくいろいろと教えてくれました。

大学生活をしながらの活動については、団の先輩たちがやれる範囲の参加でいいよ、と言ってくれるので気持ち的にも楽し、無理なく両立できています。

消防団はどんな雰囲気ですか？
また、入団したことで
得られたものがありますか？

佐々木 第4分団はアットホームで居心地がいい感じですよ。同世代もいるし、上の世代の人とも話ができるのがとてもいいな、と思います。

僕は実は人とのコミュニケーションが得意なほうではないんですが、これから社会人になるにあたって年齢関係なく話せるようになりたいと思っていました。だから団の先輩たちと自然に話ができているいろいろな経験談を聞けるのは、自分の人生にとってもプラスになっていると思います。

入団後、自分自身の変化は
ありましたか？ そして今後の
抱負も教えてください。

佐々木 当然ですがサイレンの音とか災害のニュースがとても気になるようになりました。そして「町を守る」という大事なことを人まかせじゃなく、自分がやるんだ、自分の番なんだ、と考えるようになりました。やれる範囲で、この町のために頑張っていきたいと思います。





AOMORI
CITY



おぬま うさぎ

小沼 宇彩希

青森市青森消防団 青桜分団所属
21歳 / 大学生 / 活動歴2年

消防団で活動した
ある一日



生まれ育ったふるさとの大切さを、 考えるようになりました。



地元秋田を離れ、
大学進学先の青森での入団。
きっかけは何でしたか？

小沼 入学直後の連休に実家に帰ったとき、ずっと消防団員をしている母から勧められました。私も小さいころに操法の練習について行って、母が楽しそうにしてるなぁと思った記憶があります。大学では部活はしてませんが、勉強以外に何かしたいと思っていたので入団しました。

所属しているのが
女性だけの分団だそうです、
その活動はどんなものですか？

小沼 私は学生なので土日の活動がメインで、例えば移動防火教室というのをやっています。それは小学校やイベントの場で、主に子ども達に消火器の使い方を教えたりするものです。女性団員がやることで親しみやすくなるし、女の子にも将来消防団に入れるんだよ、ということを伝えられるいい機会になっています。

他には防災の講演会を聞いたり、「礼式訓練」で消防団としての所作を身につけています。



実際に入団してみて
感じたことや気づいたことは
ありますか？

小沼 子ども達に教えつつ、私も先輩達からいろんなことを教えてもらえる場だな、と思います。みんな優しく、心の距離も近くなりました。

あと、地域にも防災に詳しい方がいたりして、逆に教わることもあります。そしてそこであらためて、地域に向けて防災知識の普及活動をされてきた先輩達のすごさを実感しています。

大学卒業後も、消防団の活動を
続けようと思いますか？



小沼 私が薬剤師を目指しているのを知った団の班長さんが「薬剤師になっても消防団に入ったらとても素敵なこと。両方の世界を知ること、きっと視野が広がられる」と言ってくれて、勇気づけられました。そして団の活動を通じて、ふるさとの大切さも考えるようになったので、青森も好きな町ですが、将来的には地元に戻って消防団活動を続けたいと思っています。



MUTSU
CITY



く し び き み さ と
櫛 引 | 美 里

むつ市消防団脇野沢消防団本部所属
30歳 / 集落支援員(温泉勤務) / 活動歴3年

消防団で活動した
ある一日



もともとあった地元愛が、 さらに強くなった気がします。



入団のきっかけは？
迷いや戸惑いは
ありませんでしたか？

櫛引 親戚に脇野沢消防団員の女性がいる、その人から誘われました。そのころ私はむつ市街地に住んでいて忙しい仕事に就いていたんですが、できる範囲でいいということで、まずはやってみよう。あと、父と祖父も昔、消防団員だったので、観閲式の行進を見たりしてなじみがありました。

そして2020年、脇野沢に
集落支援員としてUターン。
地元での活動はいかがですか？

櫛引 本来は、消防活動と各種訓練、そして高齢者の家を回って防火を呼びかける、女性団員ならではの広報活動もするはずでした。でも新型コロナウイルスの影響でほとんど中止になっちゃって。

ただ、いま私がしている集落支援員の仕事は、地域に密着して地域の人のために動くという点が消防団と共通するなあ、と感じているので、新型コロナウイルスが落ち着いたら、思いをあらたに本格的に活動したいですね。



火災現場への出動も
初めて体験したそうですね。
その日、どう行動しましたか？



櫛引 私は地域のコミュニティセンターを兼ねた温泉施設で働いているんですが、勤務中、午前11時くらいにサイレンが聞こえました。現場が近くて煙も見えるしどうしよう…と思ってたら、たまたま仕事の関係で施設に来ていた父に「早く現場に行きなさい！」と言われて飛び出して。ただ、行ったらもう消火を終えて鎮火してました。

そういう経験を踏まえて、今後に向けての訓練もしているところです。消火栓から消防車にホースをつないで水を出すのとか。やってみたら、大変というよりは意外と楽しかったです。

消防団をやることで、
自分の町への思いに
変化がありましたか？

櫛引 地域に根ざして活動することで、人のあったかさとか豊かな自然が、やっぱりいいなあと再認識しています。これからもっと町と関わっていきいたいし、この町を守っていきたいと思います。



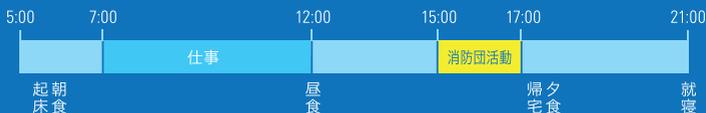
HACHINOHE
CITY



おおさか べんじゃみん
大坂 弁砂明

八戸市消防団 第10分団所属
46歳 / 会社経営者 / 活動歴1年

消防団で活動した
ある一日



地域の役に立てること、そして、 仲間ができることがうれしいです。



アメリカご出身での入団。
きっかけは何ですか？
どんな活動をしていますか？



大坂 私は1996年に三沢基地に来て、その後、消防設備工事会社に転職し、長く八戸市に住んできました。安全安心に関わる仕事をしていたし、地域の人の役に立ちたくて消防団に入りたいとずっと思っていて、消防ポンプの整備資格を取ったりもして。そして2018年に、妻の実家の家業を継ぐことになったのをひとつのきっかけとして、自分から入団しました。

今は新型コロナの影響でほとんどの活動がなくて残念ですが、正月休みのときは、地域を回って火の用心を呼びかける活動をしました。

アメリカにも、
消防団みたいなものは
あるのですか？

大坂 「ボランティア・ファイア・デパートメント」というのがありますね。普通の住民が、交代で屯所に泊まって不意の災害に備えるというもので、住民主体なところが消防団と似ています。

入団して良かったこと、
そして自分の中で
変化したことはありますか？

大坂 良かったのは、仲間が増えたことですね。私は外国人なので、八戸には同級生とか親戚はいません。でも団では、いろんな職業、年代の人と仲良くなれるし、いろんな話ができます。それにみんなご近所だから、休みの日にスーパーで声を掛けてもらったりするのもうれしいことです。

変化としては、防災意識が高くなりました。家の近くの馬淵川が増水したときも、夜の間にゆうスマホでずっと水位を確認したりしてました。



消防団について、
今後に向けて思うことは
ありますか？

大坂 入団する人がもっと増えればいいなと思います。地域密着で活動する消防団は、高齢者の方を守ったり、ご近所で助け合って暮らすために大事なものだと思います。行事の強制参加とかのイメージがあるかもしれませんが、実際はそんなことないので、気軽に入ってほしいですね。



GOSHOGAWARA
CITY



ふ く し

ひ ろ あ き

福士 裕朗

五所川原市消防団五所川原地区
第1分団所属 / 39歳
立佞武多制作者 / 活動歴16年



おかげさまで助かった、の言葉に 町に貢献できた喜びを感じます。



22才で入団されて
団歴16年とのことですが、
そもそものきっかけは？

福士 祖父が消防団の副団長をしていたんですよ。小さい時からその活動を見ていたし、消防団は空気のように当たり前にあるものでした。顔見知りの人も多くて、大きくなったら団に入れよと声掛けされていたので、自然に入団していました。



消防団では、どんな活動を
していますか？
大変ではないですか？

福士 火災消火時の後方支援がメインです。あと機械器具の定期点検とか訓練とか。だから普段はそんなに大変なことはないですよ。

ただ、東日本大震災の停電の時は別でした。ろうそくとかで火災が起きないようにと、消防車両のマイクで注意喚起を呼びかけながら回りました。避難所が開設されてるよ、と案内したりもして。そして朝方まで回って戻ってきたら、今度は近くで火災が発生して大変でしたね。でも、やれることはやったという思いはあります。

長年、消防団活動を続けてきて
どんなときに、
やりがいを感じますか？

福士 消防団は火災だけでなく、災害のとき、例えば洪水の危険があるときに、住宅の前土のうを積みに行くような活動もします。火災も災害も、被害を被る人が出てしまうシビアな現場ですが、人の命に関わる被害が出なければ、まずはホッとします。そして地域の人から「おかげさまで助かった」と言われると、達成感というか、自分たちの町に貢献できたことを肌で感じる、そういう喜びみたいなのがありますね。

これからの消防団活動への、
個人的な思いや提案などが
あれば、教えて下さい。

福士 外から引っ越して来た人でも入りやすいようにしていきたいですね。同じ地域に住んでいる人同士なんだし、ねぶた祭りとか、消防団活動以外でも自然につながりができるような関係になればたらと。あと、出動したらちゃんと手当が出ることも、もっと知ってもらえればと思います。





HIROSAKI
CITY



との さ き あ さ み
外 崎 朝 美

弘前市消防団 女性分団所属
35歳 / 看護師 / 活動歴11年



火災現場に出ない女性分団も、 やりがいのある活動をしています。



入団のきっかけは？
女性分団としての活動は
どんな内容ですか？

外崎 消防団員の父が女性分団の存在を教えてください、やってみるか？と。この分団は火災現場には出ないというし、じゃあ何をするんだろうと興味をもって入ってみた、という感じです。

活動は、まずはイベントでの救命講習とか小学校での防災教育。時には夜に飲食店を回って、防火体制の呼びかけ。あと、団員募集で大学の学祭に参加して声掛けしたりしています。

看護師というお仕事は
勤務が不規則だと思いますが、
両立はきつくないですか？

外崎 シフトで平日の休みがとれるから、学校での防災教育には逆に行きやすいし、自分のできる活動にだけ参加するので支障はないですね。

あと、女性だけの分団なのでサークルみたいで楽しいですよ。保育士さんとかりんご農家の方、学校の先生…、いろんな人と知り合えるのも新鮮だし、刺激になります。



消防団活動をしてみて、
やりがいを感じたりするのは
どんなときですか？



外崎 中学校の救命講習で教えた子に数年後、高校の講習で再会！なんてことがありました。その子が教えたことをしっかり覚えていてくれて、ああ、教えてよかったな、と思いましたね。

それと、救命講習は看護師という自分の知識を活かしてできるのでやりがいがあるし、逆に消防士さん、救命士さんから、病院以外の場所でのケガ人や病人の対処法を教わったりできるのも、団の活動ならではの学びだと思います。

消防団活動を通じての
自分の変化はありますか？
そして今後に向けての思いは？

外崎 まず自分レベルでは、旅行先ではすぐ非常口とか消火栓を確認するようになりました。そういう「意識」が大事なかな、と思います。だから団員はもちろん、市民の皆さんにも防災意識を高めてもらうように活動して、みんなで自分たちの町を守っていただければいいな、と思います。